

炎計画の中で、具体的目標を定めて改修を進めていくべきだ。木造住宅耐震診断・改修補助制度の、①実績とそれに対する評価を聞く②助成額を引き上げよ。

都市整備部調整担当部長

①制度の創設以来、診断は34件、改修は39件だ。改修助成を実施する自治体は少なく、本市は比較的多くの利用実績がある。今後も制度のPRに努める②助成額は決して低くないと考える。

議員 大規模震災による負傷者の約3割から5割が家具の転倒、落下によるものと言われている。市の家具転倒防止金具等取付サービスについて、①本制度の対象者の所得制限を撤廃し、対象者を全市民へ拡大せよ②本制度の利用実績と、今

後の利用件数を考えると、17年度の予算額で対応できるか疑問だ。対応を聞く。

市長 ①まず自助努力を啓発し、その上で必要な助成に今後も取り組みたい。

助役 ②現行の基準内での需要があれば、すべて今年度内に対応したい。



木造住宅の安全性の確保が課題だ…「耐震診断・改修助成」の案内

絵本館(仮称) 構想

まず身近な施設の環境整備を



日本共産党 森 議員

議員 絵本館(仮称)構想について聞く。市は、絵本館整備に関するアンケート調査に続き、整備に関する基本方針(案)に対する意見募集を実施した。しかし、募集期間が短い等、市民参加を求める姿勢が足りないと感じた。計画を急がせすぎ、施設づくりが目的ではないと感じている市民もいるようだ。見解を示せ。

市長 図書館との連携等、伝えきれない面がある。今後設置される絵本館構想検討会議で、市民とイメージを共有化したい。

議員 市民からは、絵本館の建設より、児童図書に詳

「敷地内」としている。交通の利便性の点からも適当だとは思えない。選定理由を聞く②定員制、入館時間の区分、有料化が今後の検討課題となっている。夢を与える絵本館構想にふさわ

しくないのではないかと。市は ①読書の大切さを伝えた山本有三の精神を受け継ぐ意味でも意義深い場所と考える②絵本館構想検討会議の中で必要性や効果等、多面的検討をしたい。

福祉施策に 障がい者の声を



日本共産党 大城 議員

議員 障害者自立支援法案の最大の論点は、負担の仕方である。現在は、収入に応じた「応能負担」だが、経費の1割を原則負担する「応益負担」となると、利用者にとっては大幅な負担増となる。人間らしく生きる最低限の支援が欲しいと願う、障がい者の願いをも踏みにじるものだ。サービスを利用するに当たっての障がい者の自己負担が増えることで、作業所や施設に通えなくなるなどの声もでている。障がい乳幼児を抱える父母から意見を聞く必要もある。障がい者にとってどんな影響が出るのか、市としても実態の把握に努めるべきだ。対応を聞く。

市長 地域福祉課などを通じ、実態の把握に努めている。引き続き、当事者の隣にある身近な基礎自治体として、障がい者の問題について、生活支援を検討していきたい。

その他の質問 井の頭池・神田川湧水復活について

井の頭公園通り整備 安心して歩ける環境を



市民の党 齋藤 議員

議員 ①井の頭公園通りは舗装工事が予定されているが、通過車両を減少させる

る速度の抑制効果を聞く。

都市整備部長 ①交通規制の徹底と外側線、イメージランプ、カラー舗装による走行速度の低下対策を図る②下連雀の一部でも実施しており、大変好評である。

議員 通過車両を平減させて、歩いて買物の可能な商店街を回復させるには、一方通行が効果的手段だ。井の頭公園通りで実験をして、商店街及び住民、周辺道路への影響を調査する必要がある。所見を示せ。

都市整備部長 ①引き続き三鷹台まちづくり協議会を中心に検討を進める②安全に買物ができる、歩行空間の確保を最重点に進め、活性化対策も検討したい。

入札制度 市内業者の改革 競争力を高めよ



市民の党 杉本 議員

議員 市では、入札改革の一環として、予定価格の事前公表を行ってきた。予定価格の事前公表は、入札の透明性を高めることが目的であったが、競争性を高めるための方策がないため、落札率の高まりを招いている。見解と対策を聞く。

市長 入札の透明性と公平性については、一定の効果が見られている。競争性があらわれている。競争性については、そのあり方について工夫していきたい。

議員 競争性を高めるためには、市外業者の参入が不可欠である。方策を問う。

総務部長 地域要件の緩和

議員 競争性を高めるため、市外業者の参入が不可欠である。方策を問う。

市長 融資制度や補助制度などを新設・拡充している。今後も市内事業者への支援を行っていく。

職員互助会事業の見直し・改善を図れ



未来の三鷹を創る会 増田 議員

議員 職員互助会事業は、職員掛金と、その24倍の公費で運営している。市民の

運用を厳格に扱いたい。

議員 互助会の基金残高は平成16年度末7千200万円ほどだ。公費負担分を返還するが、繰り越すのか何う。

助役 基金については、今後検討を進めていきたい。

議員 互助会の事業内容、使途の詳細公開は、市民に対して当然の義務だ。今後の情報公開について聞く。

助役 非公開になっているものは、何らかの方法で、公開していくような方途を考えていきたい。

家庭系ごみ 全住民均等な有料化 費用負担を



未来の三鷹を創る会 半田 議員

議員 家庭系ごみ有料化の実施は必要だと考える。理由は、三鷹の納税者以外を含め、全市民的に、ごみ処理費用の負担を適正化・均一化できるからだ。そのためには、税金の二重取りを回避する必要がある。特別会計をつくり、すべてのごみ処理費用を完全に料金化してはどうか。また、2段階従量制を導入する方法もある。三鷹の納税者に対して、一定程度のごみ処理費用について無料券を配る方法だ。全市民が均等に費用分担するためにはどうすべきか。家庭系ごみ有料化に

議員 税金を三鷹に支払っていない人たちが、ただでこみを捨てている。公平感のある費用負担を検討せよ。

生活環境部長 公平感ある方策を検討していきたい。

議員 缶、瓶の回収量は減っているが、処理費用は一定のまま。理由を聞く。

生活環境部長 マンション等の増加に伴うコンテナの増があると認識している。

配布に関するお問い合わせ

三鷹市議会では、(社)三鷹市シルバー人材センターを通じて、市内の各ご家庭に議会だよりをお届けしています。

配布に関するお問い合わせは、シルバー人材センターまでご連絡ください。

(社)三鷹市シルバー人材センター ☎48-6721